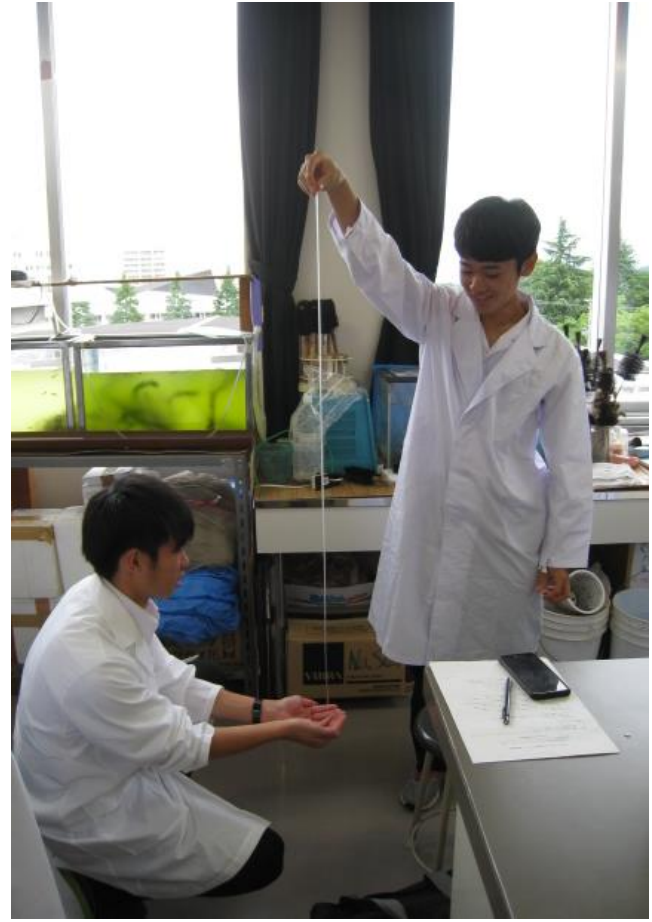


米沢興讓館高校SSH通信

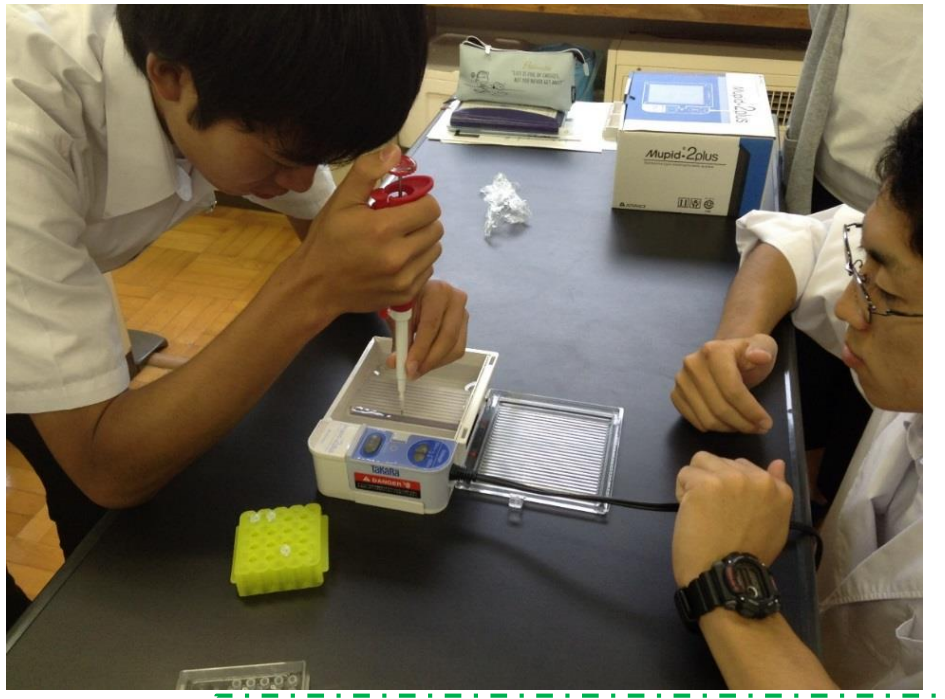
スーパーサイエンスハイスクール

今号は、本校のSSH事業の一環として、7月に行われた子ども向け実験講座・ハイレベル実験講座・科学フェスティバルin米沢の様子について紹介する。これらの事業は、本校生徒が小中学生を対象とした科学実験講座で、実験手法や効果的な教授方法を学び、子供たちに科学の楽しさを伝えるコミュニケーション力を養う目的で行われている。生徒の生き生きとした様子や、真剣に実験に取り組む様子が印象的である。



子ども向け実験講座を受講して
(2年理科男子)

私たち理数科は7月4日にあった「子ども向け実験講座」を受講しました。これは10月に行われる「生涯学習フェスティバル」に向けて、小さい子どもでも簡単に楽しめるような実験を考えるために行われました。何人かのグループに分かれて試行錯誤して様々な面白い実験を考えました。私たちのグループはスライムをストローで膨らませて風船にするという簡単にできる実験を考え、山形大学の先生の指導を受けながらよりよいものにしようと皆で話し合いました。講座の終わりに各グループが考えた実験を誰でも理解できるように説明でプレゼンをし、いくつかの実験が実際に生涯学習フェスティバルで行われることになりました。そこでは、講座で学んだことを活かして小さい子どもをはじめとした全ての人に実験の楽しさを伝えていきたいです。



ハイレベル実験講座を通して
(3年理科男子)

7月4日にハイレベル実験講座がありました。僕は生物選択なので、生物の講座を受けました。僕が講座で一番印象に残ったのは、PCRというDNAを増幅させる機械についてです。僕は研究で何回かPCRを使ったことはありましたが、学校にあるPCRと違い、最新のものではDNAの量を正確に量ることができると聞いて驚きました。DNAの量を正確に量ることができると、例えば川の中などのかなりの数の外来種がいるかを知ることができ、駆除の基準を定めることができます。その他にも様々な応用ができるので、機会があれば使ってみたいです。今回の講座では、これ以外にも進化論など様々なことを学びました。とても貴重な経験をさせていただいたので、これからの研究に活用していきたいです。

科学フェスティバルに参加して
(1年生女子)

私は科学フェスティバルにスタッフとして参加しました。そこで、たくさんの子とも達と、その保護者達と触れ合うことができました。最初は、自分もよく理解していないものを、人見知りである自分が教えるという状況に不安を感じていました。しかし、実際にお客さんがやって来て教えてみると、必死に聞いてくれる子ども達と、サポートしてくれる保護者達のおかげで、自然と緊張がほぐれていきました。お客さんが協力してくれなかったら、私は緊張で周りに目を配ることができず、楽しむことができなかったと思います。たくさんの人と触れ合い、その人達に何かを教えるという経験を経て、人と接することに対する自分の未熟さを感じました。また、何かを人に教えるというのは、受け手の反応も大切なのだと気付くことができました。



080

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

